

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



今月のテーマ

商工振興について

◆商工に関する問い合わせ
営業戦略課
☎01654③2111(内線3342)

いただいた意見、
質問、提言など

「若い人たちが札幌などに行ってしまうのでもっと名寄で働くところがあるといいと思います」
「中心市街地の活性化がぜひ必要であり、計画的に進めることが望ましい」
「将来のなよろ発展のため、経済元氣化に向けて、商工会、観光協会、市などで連携してもっと頑張ってもらいたい」 など

回答

本市では「名寄市中小企業振興条例」に基づき、事業者が取り組む既存店舗の改修や設備投資をはじめ、創業や新規開業、中心市街地の賑わいづくりのほか、人材の確保・育成への支援など、ハード・ソフト両面への支援を通じて、中小企業の振興と市街地の賑わい、魅力ある商店街づくりなどを目指しており、近年は、飲食店を中心に店舗の増改築、空き店舗などを活用しての創業や開業をはじめ、なよろアスパラまつりや商店街などにおけるイベント開催のほか、人材の確保・育成に向けた技能者養成などの取り組みも行われています。

また、中心市街地の活性化については、平成12年度に策定した「中心市街地活性化基本計画」、さらには平成22年からは「社会資本総合整備計画」に基づき、アーケードや駅前交流プラザ「よろーな」などの整備を進めてきました。現在は、コンパクトなまちづくりを目標に「名寄市都市計画マスタープラン」の見直しおよび「名寄市立地適正化計画」の策定を進めており、都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業の立地など、包括的なランドデザインを描く中で、中心市街地の中長期的なあり方についても検討しているところです。

そして、総合計画(第2次)の重点プロジェクトのひとつである「経済元氣化プロジェクト」を進めるため、地域経済の好循環を図り、まちに元氣を生み出すとともに、移住・交流の推進による交流人口の拡大に取り組むこととしており、「名寄市中小企業振興審議会」や「名寄市観光交流振興協議会」など、さまざまな協議体を通して、商工団体、観光協会、金融機関、関係機関等と連携し、オール名寄の体制で、取り組みを進めてまいります。

事業区分 年度	中心市街地 近代化事業	店舗支援事業	街なかにぎわい事業		創業支援事業
			コミュニティ事業	空き地・空き店舗事業	
平成27年度	1	5	6	3	— ※1
平成28年度	1	10	7	2	1
平成29年度	1	6	7	0	1

※1 創業支援事業は平成28年度からの新規事業のため平成27年度は実績なし

▶次回のテーマ(予定) 除排雪について